

# 海底資源開発の課題

— 経済的見地から —

CIGS研究主幹／一橋大学

小林慶一郎

# ほぼ確実なトレンド

- ▶ グローバルな市場統合の長期的継続  
(政治、軍事的な破局がこないことが前提)
- ▶ 中国、インドその他の新興国の長期的成長
- ▶ 資源需要の持続的な拡大
- ▶ 資源価格の上昇トレンドの継続
- ▶ 海底資源開発の採算性の向上

# 不確実性

- ▶ レアメタル、レアアースなどの「代替物」が開発される蓋然性？
- ▶ 資源を使わない産業に産業構造が変化？  
(製造業からサービス産業・金融業へ？)
- ▶ 海底開発技術の動向？
- ▶ 海底資源の所在、埋蔵量？  
(オイルショックの後の日本の石油開発)

# 解決すべき課題

- ▶ 超長期のトレンドとしては、海底資源開発の採算性は向上
  - ▶ 中期的には様々な不確実性が存在
  - ▶ 短期的には巨額の初期投資が必要
- 
- ① 投資回収までに超長期の時間(製薬企業)
  - ② 民間で背負いきれないリスク(大航海時代の外洋貿易と類似の構造)

# リスク分散 — 制度 and/or 技術

- ▶ 公設民営 — 国家によるリスクの引受
- ▶ 市場でのリスク分散
  - + 大航海時代 → 株式会社システム
  - + 住宅ローン → 証券化技術 (MBS)
  - + 海底資源開発のための証券化技術
    - MBS = Mine Backed Securities ?

# 公設民営型の課題

- ▶ 超長期の安定したファイナンスを確保
  - + 公的資金だけでなく、市場での資金調達
  - + 撤退（破綻）のルール設定
  
- ▶ 経営陣、従業員のインセンティブの確保
  - + 責任と権限の分布
  - + プロジェクトの成否と連動した報酬  
(超長期の事業 ⇔ 個人の評価)

# その他の経済的論点

- ▶ 資源産出国への所得移転の増加
  - + 日本にとっては、輸出市場の拡大
  - + 資源国から対日投資の拡大により資金還流を図る？
- ▶ 資源を使わない産業に産業構造が変化？
  - + 製造業はGDPの23%
- ▶ 国際的な独禁政策、貿易政策の新枠組みが必要？
  - + 国際的な鉱山企業の独占をどう規制するか
  - + 国家による資源輸出規制をWTOなどで国際社会が制限できるか